

学びのネットワーク 市民講師によるサロン塾

「人材バンク推進委員の会と」市民大学との共同企画

第4回

ペン習字

—美しい挨拶文の書き方—



日時 10月25日(月) 13:30~15:00
会場 鶴瀬公民館 いきいき活動室
講師 江村 文子氏
受講生 5名



講師 江村文子氏

人材バンクの野崎さんより講師紹介。書道が、登録無形文化財の対象になり、検討が進められているとお話があった。

今回は病気見舞いの ①挨拶状

②秋のことば

立秋 早涼…朝夕ことのほか涼しく

仲秋 観月…灯火親しむ頃となり、虫の音も月の光もすっかり秋めく

秋祭り 紅葉

他 先生のお手本を参照のこと

③色紙に書く 特別に先生から頂いた色紙に好きな漢字を書き、バランスを考えながら言葉を添えて書く

色紙用の立てる足まで頂きました

例えば 叶 言葉は心のサプリです

歩 きょうはどこまで行こうかな

艶 いろっぽさは必須

友 宝です

木 独り立ちしています

筆ペンで行書、草書でもよく、最初は3行書いて江村先生のもとに提出し見ていただく。受講生の一人ひとりに対し、丁寧に筆のハネ、強弱について指導があった。

今回は受講生の人数が少なかったので、時間をかけて指導が行き届きました。

漢字は大きく、かなは小さく、日頃は書き散らしていますが、全体を見通してバランス、余白などに注意を払うこと。

受講生は真剣な眼差しで会場は空気が張り詰め、せっせと筆を走らせる紙と筆ペンのこすれる音が聞こえるばかりでした。

報告 加藤久美子